

現代日本語の二字漢語動詞の自他

要 旨

学位請求者：張 志剛
所 属：言語社会研究科第2部門
学 籍 番 号：LD072006

日本語では、述語が文の中心に位置づけられている。述語の中では、動詞がその中核を担う役割を果たす。また、動詞に支配される名詞が文中に現れる際に、格助詞を伴うことが一般的であり、動詞の性質によって、支配できる「名詞＋格助詞」のパターンも異なる。このような現象は日本語の自動詞と他動詞の区別にも顕著に現れる。

(1)の自動詞の場合は、ガ格の対象だけを要求するのに対し、(2)の他動詞の場合は、ガ格の主体とヲ格の対象を要求する。

- (1) a. 服が乾いた。
- b. 窓が割れた。
- c. 経済が発展している。
- d. 桜が開花した。
- (2) a. 太郎が服を乾かした。
- b. 太郎が窓を割った。
- c. 太郎が英語を勉強している。
- d. 太郎が次郎を殺害した。

文法的な正しい文を作るためには、自動詞か他動詞かという動詞の情報を事前に知ることが重要である。そうでなければ、「*太郎が服を乾いた」「*服が乾かした」「*太郎が経済を発展する」「*次郎が殺害した」のような正しくない文が作られる可能性がある。

和語動詞は、佐久間(1936、1951、1966)、西尾(1954)、奥津(1967)などの一連の研究で明らかにされた語尾の規則的な形態変化によって、自他を判断する形式的な手段を持っている。例えば：「乾く<-u>－乾かす<-asu>」「割れる<-eru>－割る<-u>」など。

一方、漢語動詞は、常に「漢語＋する」という語形を取るもので、語形からその自他を判断する形式的な手段を持たない。例えば、「発展する」は自動詞で、「殺害する」は他動詞になる。

このように、和語動詞と漢語動詞は、語形からその自他を判断できるかという点において異なる。しかしながら、日本語母語話者は、若干のゆれが存在するとはいえ、漢語動詞の自他も自然に習得し、正しく判断できるようになる。漢語動詞の自他も自然習得できるということから、日本語母語話者は漢語動詞の自他を決める規則を内在的に身につけていると考えられる。その規則を解明できれば、言語の規則を記述する面だけではなく、日本語教育に役立つと思われる。

以上の研究動機から、本研究の目標は以下の3つを設けている。

第一は、二字漢語動詞の自他及び語構成を記述することである。

第二は、二字漢語動詞の自他を決める規則を記述することである。

第三は、日本語教育への応用方法を提案することである。

また、この3つの目標の研究成果は以下に示す通りである。

まず、1番目の目標の成果は、別冊の付表資料1-6に示す通りである。

次に、3番目の目標の成果は、第11章に述べているような応用方法が考えられる。

最後に、2番目の目標の成果は、第二部の各章の纏めに示す通りであるが、以下は各タイプにおける自他決定の規則とその規則が適応する語数について簡単に纏めたものである。

第一、AV型漢語動詞に関する成果は以下に示す通りである。

まず、修飾型(A>V)の場合は、各要因の関係が図1ようになる。

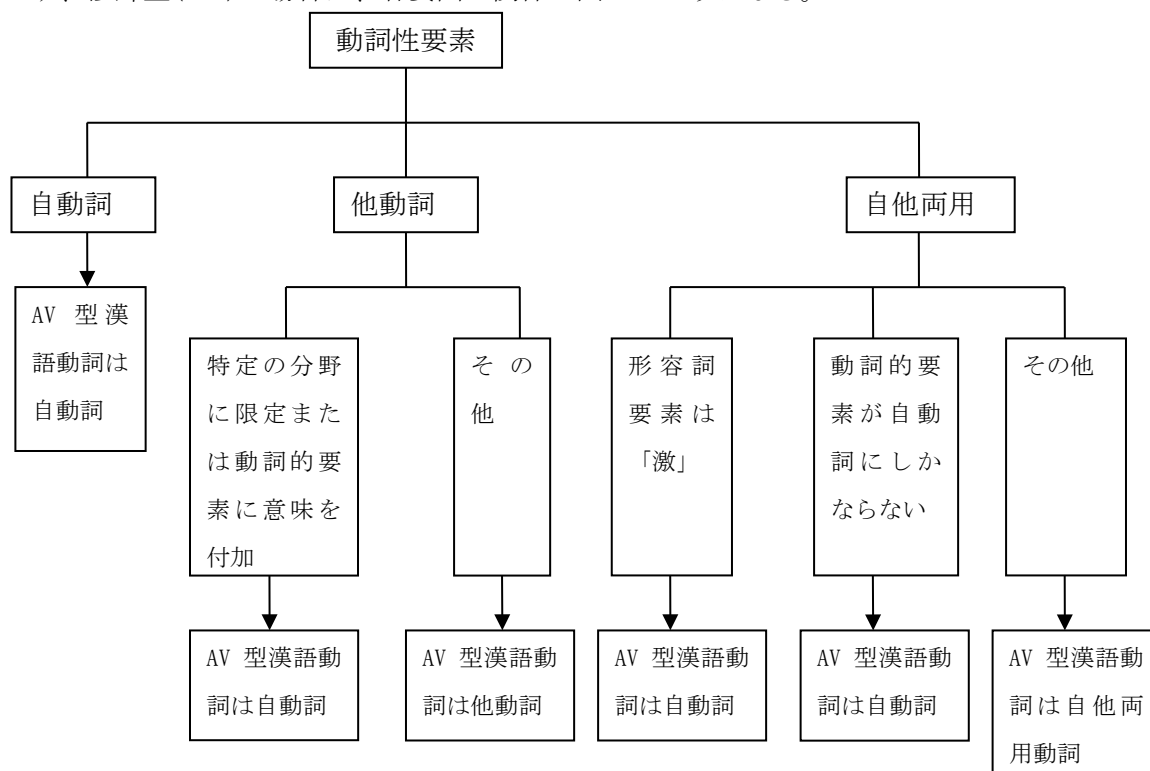


図1 修飾型のAV型漢語動詞の自他決定

要因1：動詞的要素の自他によって、カバーできる語数は175語で、修飾型全語数(232語)の75%を占めている。

要因2：動詞的要素が他動詞である場合、AV型漢語動詞が特定の分野に限定して使われる際、または動詞的要素に意味を付加する際に、AV型漢語動詞が自動詞になる。この要因でカバーできる語数は8語で、要因1でカバーできない12語の67%を占めている。

要因3：動詞的要素が自他両用動詞である場合、形容詞要素が「激」を含む際にAV型漢語動詞が自動詞になる。この要因でカバーできる語数は5語で、要因1でカバーできない43語の12%を占めている。

以上の3つの要因でカバーできる語数は188語で、修飾型全語数(232語)の81%を占めている。

以上を表に纏めると、表1の通りである。

表 1 修飾型の AV 型漢語動詞の自他決定の各要因のカバー率

要因	例内(注 1)の語数	例外を含む全語数	カバー率
要因一	175	232	75%
要因二	8	12(注 2)	67%
要因三	5	43(注 2)	12%
合計	188	232	81%

注 1：「例内」とは当該要因でカバーできる語を指す。以下は同様。

注 2：当該数字は要因一で例外になる語数の一部である。

次に、動補型の AV 型漢語動詞(V<<A)の場合は、各規則の関係が図 2 のようになる。

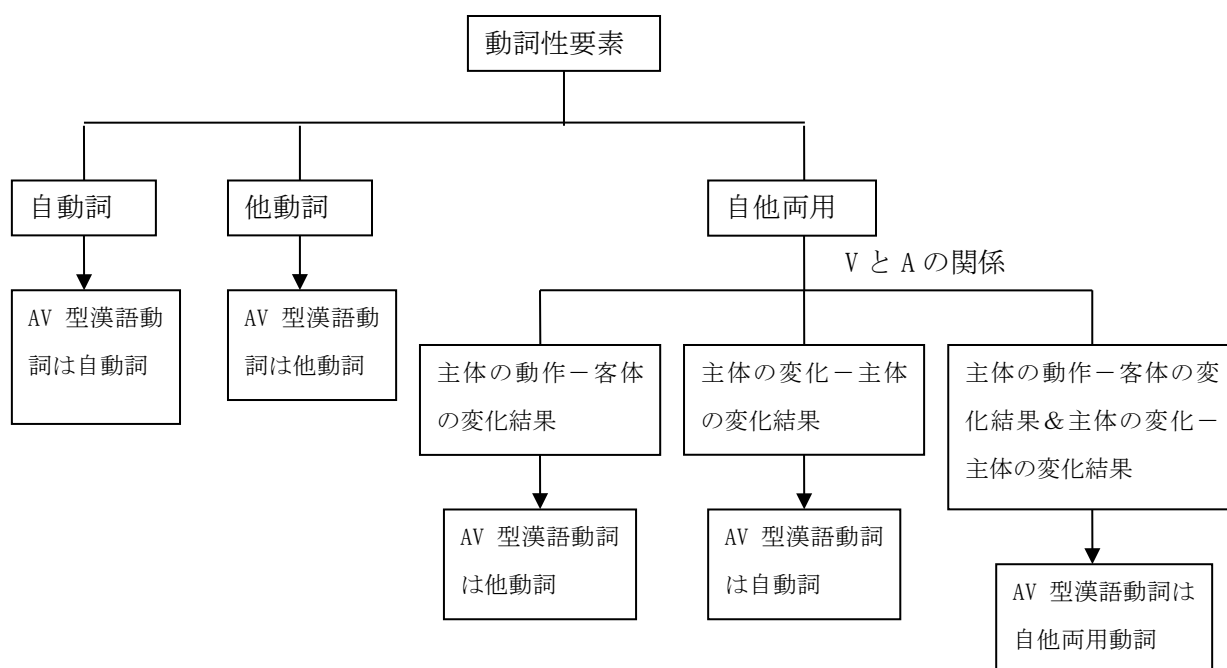


図 2 動補型(V<<A)になる AV 型漢語動詞の自他決定

要因 1：動詞的要素の自他によって、カバーできる語数は 22 語で、動補型全語数(37 語)の 60%を占めている。

要因 2：動詞的要素と形容詞的要素との関係によって、カバーできる語数は 15 語で、要因 1 でカバーできないすべての語を含む。

以上を表に纏めると、表 2 の通りである。

表2 動補型の AV 型漢語動詞の自他決定の各要因のカバー率

要因	例内の語数	例外を含む全語数	カバー率
要因一	22	37	59%
要因二	15	15(注2)	100%
合計	37	37	100%

注2：当該数字は要因一で例外になる語数である。

第二、VN 型漢語動詞に関する成果は以下に示す通りである。

補足型(N+V または V+N)の VN 型漢語動詞の自他を決定する要因は(1)の通りである。

(1) VN 型漢語動詞の自他を決定する要因：

要因一：動詞的要素と名詞的要素との格関係：ヲ格、ニ格、ガ格

要因二：名詞的要素の意味特徴：0 項名詞か 1 項名詞か

要因三：1 項名詞の項の取り方

要因四：0 項名詞の意味分類と動詞的要素の格体制

また、各要因の関係は図3に示す通りである。

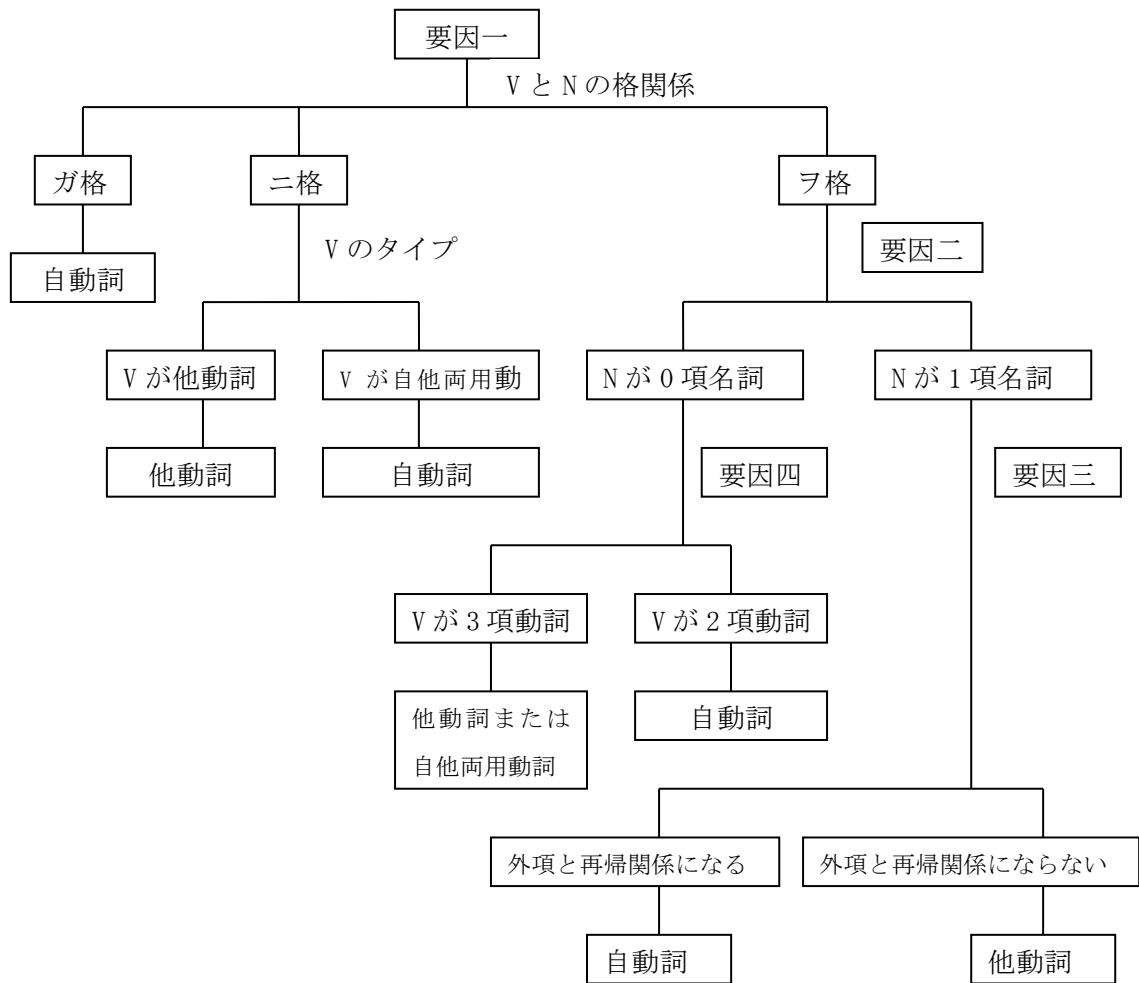


図3 補足型のVN型漢語動詞の自他を決める各要因の関係

- 要因1：動詞的要素と名詞的要素の格関係がガ格になる場合、すべてのVN型漢語動詞(59語)が自動詞になり、100%のカバー率である。二格になる場合、カバーできる語数が219語で、二格を取る全語数(236語)の93%を占めている。
- 要因2：動詞的要素と名詞的要素の格関係がヲ格になる場合、名詞的要素が0項名詞である際に、VN型漢語動詞が自動詞になるカバー率は62%(249語のうち154語)で、名詞的要素が1項名詞である際に、VN型漢語動詞が他動詞になるカバー率は53%(485語のうち255語)である。
- 要因3：名詞的要素が1項名詞である際に、名詞的要素が外項と再帰関係になる場合にVN型漢語動詞が自動詞になるカバー率(要因2でカバーできない230語に対するカバー率)は85%(230語のうち196語)である。
- 要因4：名詞的要素が0項名詞である際に、動詞的要素が3項動詞である場合にVN型漢語動詞が他動詞になるカバー率(要因2でカバーできない95語に対するカバー

率)は63%(95語のうち60語)である。
 以上を表に纏めると、表3の通りである。

表3 補足型のVN型漢語動詞の自他決定の各要因のカバー率

要因	例内の語数	例外を含む 全語数	カバー率
要因一：ガ格	59	59	100%
要因一：ニ格	219	236	93%
要因一：経路ヲ格	43	43	100%
要因二：0項名詞	154	249	62%
要因二：1項名詞	255	485	53%
要因三	196	230(注3)	85%
要因四	60	95(注4)	63%
合計	986	1072	92%

注3：当該数字は要因二：1項名詞で例外になる語数である。

注4：当該数字は要因二：0項名詞で例外になる語数である。

動詞的要素が後置である修飾型(N>V)のVN型漢語動詞の自他を決定する要因は動詞的要素の自他である。カバー率は72%(123語のうち89語)である。

動詞的要素が前置である修飾型(V>N)のVN型漢語動詞(8語)に関しては、規則がないとする。

第三、VV型漢語動詞に関する成果は以下に示す通りである。

VV型漢語動詞の自他を決定する要因は、(2)の通りであり、各要因の関係は図4に示す通りである。

(2) VV型漢語動詞の自他を決定する要因：

- 要因一：後項要素の自他
- 要因二：「他動性調和の原理」
- 要因三：主要部の位置
- 要因四：特定の形態素をもつ

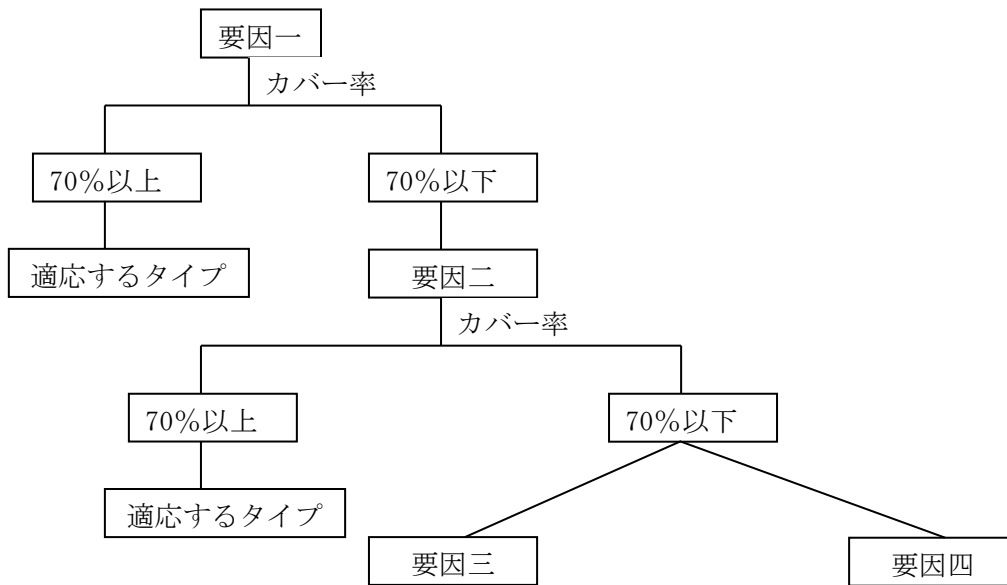


図 4 VV 型漢語動詞の自他を決める各要因の関係

要因 1：後項要素の自他によって、カバー率が 70%を越えたタイプを対象に、全語数の 1,410 語のうち 1,262 語をカバーでき、90%に達している。

要因 2：「他動性調和の原理」によって、要因 1 でカバー率が 70%以下のタイプのうち、要因 2 でのカバー率が 70%を越えたタイプを対象に、全語数の 434 語のうち 352 語をカバーでき、81%に達している。

要因 2 でもカバー率が 70%以下のものに関しては、要因三と要因四で対応するが、現段階では数字化することがまだできない。

以上を表に纏めると、表 4 の通りである。

表 4 VV 型漢語動詞の自他決定の各要因のカバー率

要因	例内の語数	例外を含む 全語数	カバー率
要因一	1262	1410	90%
要因二	352	434	81%
要因三	0	517(注 5)	0%
要因四	0	517(注 5)	0%
合計	1614	2361	68%

注 5：要因二でもカバー率が 70%以下のタイプの語の合計